|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 原因食物 |  | エピペン®  保管場所  **児童生徒との**  **関係** |  |
| 保護者  連絡先① | ☏ 　(　　　)  **児童生徒との**  **関係** | 内服薬  名称 |  |
| 保護者  連絡先② | ☏ 　 (　　　) | 搬送先  希望病院 | ☏  ※搬送先は救急隊の判断となります。 |

**《緊急時個別対応カード》　　　　　年　　　組　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（男・女）さん**

様式２－１－４

※保護者様　上記太枠部分の記入をお願いいたします。

♦救急搬送の受け入れ及びアレルギー症状の判断等に困った場合

**＜ホットライン（慈恵第三病院）へ連絡＞**

**子どもから目を離さず、応援を依頼！**

５分以内に判断する

1. **１．緊急性が高いアレルギー症状はあるか？**

なし

全　身

（　　　 　：　　 　　）

（　　　 　：　　 　　）

（　　　 　：　　 　　）

（　　　 　：　　 　　）

（　　 　　：　　 　　）

（　　　 　：　　 　　）

（　　　 　：　　 　　）

（　　 　　：　　 　　）

（　　 　　：　　 　　）

（　 　　　：　　 　　）

（　　 　　：　　　　 ）

（　　　 　：　　　 　）

（　　　 　：　　 　　）

* ぐったり
* 意識もうろう
* 尿や便を漏らす
* 脈がふれにくいまたは不規則
* 唇や爪が青白い
* のどや胸が締め付けられる
* 声がかすれる
* 犬が吠えるような咳
* 息がしにくい
* 持続する強い咳き込み
* ゼーゼーする呼吸
* 持続する強い（がまんできない）お腹の痛み
* 繰り返し吐き続ける

**「２」へ**

呼吸器

消化器

**１つでもあてはまる場合**



**① ただちにエピペン®を使用　（**：**）**

※内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない

1. **救急車を要請する（119番通報）（**：　**）**

**１③ その場で安静を保つ**

**（　動かさない　仰向け　顔は横向き　足を上げる　）**

W ④ その場で救急隊を待つ

ｄｄ　　⑤ 可能なら内服薬を飲ませる（　 　　：　 　　）

**ただちに救急車で医療機関へ搬送（説明できる人が随行）**

**応答・呼吸が無い場合**

・心臓マッサージ

（１分間に１００～１２０回）

・AEDの措置

※救急隊に引き継ぐまで継続する

**※症状は急激に変化することがあるため、５分ごとに「1」「２」「3」の**

**症状があるか、注意深く観察する！**

なし

**２.下記の症状が１つでもあてはまるか？**

**３.下記の症状が１つでもあてはまるか？**

呼吸器

* 数回の軽い咳
* 中等度のお腹の痛み
* １～２回のおう吐
* １～２回の下痢
* 顔全体の腫れ
* まぶたの腫れ
* 強いかゆみ
* 全身に広がるじんま疹
* 全身が真っ赤

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

消化器

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

（　　　：　　　）

* 軽いお腹の痛み

（がまんできる）

* 吐き気
* 目のかゆみ、充血
* 口の中の違和感
* 唇の腫れ
* くしゃみ・鼻水・鼻づまり
* 軽度のかゆみ
* 数個のじんま疹
* 部分的な赤み

消化器

目・口・鼻・顔面

目・口・鼻・顔面

皮 膚

皮 膚

**１つでもあてはまる場合**

**１つでもあてはまる場合**

1. **内服薬を飲ませる（**  : **）**
2. 少なくとも５分ごとに症状の変化を観察。

一時間程度経過し、症状の改善がみられない

場合は医療機関を受診する。

1. 容態が進行し、「１」または「２」の症状にあてはまる場合は、それにあわせた対応をする。

**安静にし、注意深く経過観察**

1. **内服薬を飲ませ、エピペン®を準備する （** :  **）**
2. 速やかに医療機関を受診する

（救急車の要請も考慮）

医療機関に到着するまで、５分ごとに症状の変化を観察し、「１」の症状が１つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する。

**速やかに医療機関を受診**

**安静を保つ体位**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 血圧が低下しているおそれがあるため、仰向けで足を１５～３０㎝高くする。 | **ぐったり、意識もうろうの場合** | **吐き気、おう吐がある場合** | **呼吸が苦しく仰向けになれない場合** |
| イラスト出典：環境再生保全機構ERCA（エルカ）「食物アレルギー対応ガイドブック20２１改訂版」  https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/00/pdf/archives\_31321.pdf  おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横にむける。 |  | 呼吸を楽にするため、上半身を少し起こし、後ろに寄りかからせる。 |

【Ｒ4年3月策定】